



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年7月28日

上場会社名 株式会社ソシオネクスト 上場取引所 東  
コード番号 6526 URL <https://www.socionext.com/jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長兼CEO (氏名) 肥塚 雅博  
問合せ先責任者 (役職名) 広報IR室長 (氏名) 中島 弘雅 TEL 045 (568) 1000  
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	61,447	53.9	10,109	80.7	11,109	67.2	7,952	57.2
2023年3月期第1四半期	39,934	—	5,594	—	6,644	—	5,058	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 8,738百万円 (54.5%) 2023年3月期第1四半期 5,655百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	232.42	221.40
2023年3月期第1四半期	150.24	—

- (注) 1. 2023年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については、2022年3月期第1四半期の四半期連結財務諸表を作成していないため記載しておりません。  
2. 2023年3月期第1四半期の1株当たり四半期純利益については、2022年9月の株式併合等が2023年3月期の期首に行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。  
3. 2023年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	184,043	115,472	62.7
2023年3月期	193,945	109,864	56.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 115,326百万円 2023年3月期 109,852百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	210.00	210.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	105.00	—	105.00	210.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	200,000	3.8	22,500	3.6	22,500	△4.0	17,500	△11.5	504.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	34,838,421株	2023年3月期	33,666,666株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	55株	2023年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	34,213,614株	2023年3月期1Q	33,666,666株

(注) 2023年3月期1Qについては、2022年9月の株式併合等が2023年3月期の期首に行われたと仮定して「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（自2023年4月1日至2023年6月30日）における世界経済は、需要と供給の両面で穏やかな持ち直しの動きもありましたが、米国や欧州での物価上昇への対策としての政策金利の引上げ等により景気の減速が進んでおり景気回復のペースは鈍化しています。また、ロシアのウクライナ侵攻の長期化や、米中貿易摩擦などにより、時間の経過とともに世界各地の経済成長率が引下げられていることで先行きに対する不透明感がますます高まりました。また、各地域の金融政策の違い等により円相場が大きく変動しました。

半導体市場においても、新型コロナウイルス感染症にからむ特需が一段落するとともに、景気の減速が進んでいることから、スマートフォン、PC、コンシューマ製品等の最終製品に対する需要が低下し、半導体に対する需要も減退しました。一方、これにより、半導体製造企業の生産能力の逼迫状況は緩和されてきました。

このような状況下において、当社グループは、2020年3月期以降7nm以細のデータセンター／ネットワーク、オートモーティブなどの注力分野においてカスタムSOC商談を獲得してきていること、その一部において開発が完了し量産段階に移行していることから、売上水準の拡大に寄与してきており、特に先端テクノロジーでの製品売上が増加しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は61,447百万円（前年同四半期比53.9%増）となりました。製品売上については、2020年3月期以降に獲得した商談で製品開発が完了し、徐々に量産段階に移行していることで先端プロセスを中心に製品の売上数量が増加したことや、中国の一部顧客において短期的に特需が製品売上の増加に寄与したことに加え、円安影響も重なり52,920百万円（前年同四半期比70.5%増）となりました。NRE売上については、先端プロセスを使用した開発案件が継続していることで前年同四半期並みの8,381百万円となりました。

[売上高] (単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
製品売上	31,032	52,920
NRE売上	8,732	8,381
その他	170	146
売上高合計	39,934	61,447

製品売上の拡大及び円安影響により売上原価は34,496百万円（前年同四半期比73.7%増）、先端プロセスを使用した開発案件の増加及び円安影響により販売費及び一般管理費は16,842百万円（前年同四半期比16.3%増（うち開発費12,160百万円（前年同四半期比15.0%増）））となり、営業利益は10,109百万円（前年同四半期比80.7%増）となりました。これに加え、営業外の為替差益の発生により経常利益は11,109百万円（前年同四半期比67.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7,952百万円（前年同四半期比57.2%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間の米国ドルの平均為替レートは137.4円、前年同四半期比7.8円の円安となりました。

なお、当社グループは、ソリューションSOC事業の単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は147,693百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,374百万円減少しました。これは主に、ストック・オプションの行使の払込があったのに対して、配当金や法人税等の支払により現金及び預金が減少したことによるものであります。また、製品売上の拡大により棚卸資産が減少し、売掛金が増加しております。固定資産は36,350百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,528百万円減少しました。主な設備投資は、獲得した商談の製品開発に係るレチクルやIPマクロ等の取得に加え、開発規模拡大に伴うデータセンターの増強であります。

この結果、総資産は184,043百万円となり、前連結会計年度末に比べ9,902百万円減少しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は66,769百万円となり、前連結会計年度末に比べ15,569百万円減少しました。これは主に、法人税等の支払に加え、顧客要望に基づく先行手配が減少したことでの買掛金の減少や、製品売上の増加に伴う有償支給に係る負債の減少によるものであります。

この結果、負債合計は68,571百万円となり、前連結会計年度末に比べ15,510百万円減少しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は115,472百万円となり、前連結会計年度末から5,608百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益7,952百万円の計上により利益剰余金が増加したことや、ストック・オプションの権利行使に伴う払込金額の増加があった一方で、剰余金の配当を行ったことによるものであります。

この結果、自己資本比率は62.7%となり、前連結会計年度末から6.1%増加しております。顧客要望に基づく棚卸資産の先行手配が減少し、製品売上の増加に寄与しております。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は前連結会計年度末より11,202百万円減少し、33,934百万円となりました。当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは4,508百万円の支出となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益11,109百万円に対して、法人税等の支払6,099百万円に加え、製品売上の拡大により棚卸資産3,922百万円が減少し、売上債権が4,375百万円増加したことによるものであります。棚卸資産の減少については、このうち主な要因である顧客要望に基づく先行手配が減少し製品売上の増加に寄与しており、当該取引による影響が「その他の資産の増減額」及び「その他の負債の増減額」に含まれています。

投資活動によるキャッシュ・フローは4,227百万円の支出となりました。これは主に、獲得した商談の製品開発に係るレチクル、テストボード及び開発環境増設のための有形固定資産の取得による支出3,485百万円と、IPマクロ等の無形固定資産の取得による支出738百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは3,356百万円の支出となりました。これは主に、ストック・オプションの行使による収入2,684百万円や、新株式申込証拠金の払込による収入1,123百万円に対して、配当金の支払7,070百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年4月28日に公表いたしました2024年3月期連結業績予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	45,136	33,934
売掛金	40,809	47,253
製品	8,187	10,731
仕掛品	39,528	33,063
未収入金	16,209	15,344
その他	6,198	7,368
流動資産合計	156,067	147,693
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,583	2,636
機械及び装置（純額）	8	8
工具、器具及び備品（純額）	13,438	15,229
土地	800	800
建設仮勘定	351	366
有形固定資産合計	17,180	19,039
無形固定資産		
技術資産	11,494	10,476
その他	1,468	1,681
無形固定資産合計	12,962	12,157
投資その他の資産		
投資有価証券	0	0
繰延税金資産	6,897	4,307
その他	839	847
投資その他の資産合計	7,736	5,154
固定資産合計	37,878	36,350
資産合計	193,945	184,043
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	23,421	21,339
未払金	24,551	23,453
未払費用	5,755	3,660
未払法人税等	6,942	925
有償支給に係る負債	18,869	12,989
その他	2,800	4,403
流動負債合計	82,338	66,769
固定負債		
資産除去債務	343	348
その他	1,400	1,454
固定負債合計	1,743	1,802
負債合計	84,081	68,571

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	30,200	31,542
新株式申込証拠金	—	1,123
資本剰余金	30,200	31,542
利益剰余金	48,630	49,512
自己株式	—	△1
株主資本合計	109,030	113,718
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	822	1,608
その他の包括利益累計額合計	822	1,608
株式引受権	—	146
新株予約権	12	—
純資産合計	109,864	115,472
負債純資産合計	193,945	184,043

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	39,934	61,447
売上原価	19,858	34,496
売上総利益	20,076	26,951
販売費及び一般管理費	14,482	16,842
営業利益	5,594	10,109
営業外収益		
為替差益	1,049	943
その他	6	71
営業外収益合計	1,055	1,014
営業外費用		
その他	5	14
営業外費用合計	5	14
経常利益	6,644	11,109
税金等調整前四半期純利益	6,644	11,109
法人税、住民税及び事業税	896	482
法人税等調整額	690	2,675
法人税等合計	1,586	3,157
四半期純利益	5,058	7,952
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,058	7,952

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
四半期純利益	5,058	7,952
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	597	786
その他の包括利益合計	597	786
四半期包括利益	5,655	8,738
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,655	8,738

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	6,644	11,109
減価償却費	2,388	2,894
受取利息及び受取配当金	△5	△56
固定資産除却損	22	506
固定資産売却損益(△は益)	△10	—
売上債権の増減額(△は増加)	△5,626	△4,375
棚卸資産の増減額(△は増加)	△2,891	3,922
仕入債務の増減額(△は減少)	1,942	△4,119
その他の資産の増減額(△は増加)	△11,138	△367
その他の負債の増減額(△は減少)	5,556	△8,235
その他	△255	256
小計	△3,373	1,535
利息及び配当金の受取額	5	56
法人税等の支払額	△2,109	△6,099
営業活動によるキャッシュ・フロー	△5,477	△4,508
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,812	△3,485
無形固定資産の取得による支出	△1,703	△738
固定資産の売却による収入	10	—
その他	—	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,505	△4,227
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△79	△92
ストックオプションの行使による収入	—	2,684
新株式申込証拠金の払込による収入	—	1,123
自己株式の取得による支出	—	△1
配当金の支払額	—	△7,070
財務活動によるキャッシュ・フロー	△79	△3,356
現金及び現金同等物に係る換算差額	956	889
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△9,105	△11,202
現金及び現金同等物の期首残高	46,271	45,136
現金及び現金同等物の四半期末残高	37,166	33,934

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

当社グループの事業セグメントは、ソリューションS o Cビジネスモデルで開発するS o Cを主とする単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

当社グループの事業セグメントは、ソリューションS o Cビジネスモデルで開発するS o Cを主とする単一セグメントであるため、記載を省略しております。